前・長生村長

石井としお通信

ホームページは「石井としお」で検索

2018年1月第119号
石井としお後援会発行
部内討議資料
長生村七井土 1387-2
電話 090-3094-0321

石井としお村議会復帰を決意

あけましておめでとうございます。一年、村民の皆様に健康と心安らかな日々が訪れますようにお祈りします。

さて、今年は村議会選挙の年です。後援会では、昨年すでに石井としおを予定候補者に推薦決定しておりますが、今号では、年頭に当たりあらためて本人の思いを聞き、村政にかける決意についてお知らせします。

つらぬきます・住民が主人公

私、石井としおは長生村で生まれ、地元の小・中学校に通い、家族をもち八積小のPTA会長をへて、村議会議員２年、村長８年、村民の皆様と共に長生村を残しました。思えば１６年前、地域の方々の推薦で村会議員に当選させていただき、２年もたたない時に合併騒動が始まり「合併しなければ財政破綻する」と言われましたが、合併した方が財政はより厳しくなると確信し住民投票を公約にして村長にさせていただきました。職員の適正配置、行財政改革、入札制度などを改善し、毎年１億円もの預金ができるようにしました。

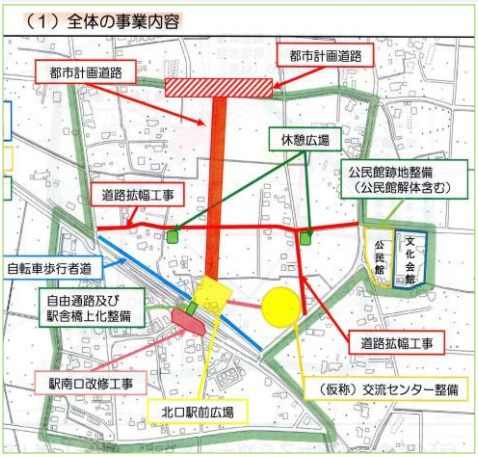
また、子供医療費の無料化や外出支援サービス、福祉タクシー、中学校の建て替えなど多くの施策を進めることができました。

合併しなかったので進む村づくり

そして、平和こそが村民の幸せな暮らしの礎と考え「平和市長会議」に入り「平和都市宣言」を行い役場と文化会館に表示をしました。さらに、日本から原発をなくすために「脱原発をめざす首長会議」にも加入しました。津波避難施設、避難・生活道路、広域消防署の村内移転など、村づくりは着実に進んでいます。これらはすべて、合併しなかったからこそ進んだ村づくりだと確信しています。

しかし現在、八積駅周辺の整備として４３億円をかける大事業を進めようとしています。その中には、私どもの調査では反対が多い八積・高根・一松の３保育所を廃止し認定こども園を作る計画、小中学校４校の自校給食を廃止しセンター方式にする計画があります。住民の意向が活かされていません。大事業に向けた税金のつかい方が、住民の感覚から離れていると思います。これでは住民が主人公とはいえません。議会は税金の使い方をチェックするのが仕事です。皆様のお役に立てる村政の仕事ができればと思い、村議会復帰を決意しました。

村が八積駅周辺の整備(案)を議会に説明



村議会に「八積駅周辺のまちづくり」について説明があり、平成 30 年からの 1 期工事、平成 33 年からの 2 期工事、認定こども園、給食センターなどの資料が出されました(H29,9/13)。

【第１期】八積駅周辺整備スケジュール

	平成３０年度【2018年度】	平成３１年度【2019年度】	平成３２年度【2020年度】
生活道路	←	―	→
南口駅前広場	←	→	
仮称：交流センター【新公民館】	←	―	→
休憩広場		←	→

【第２期】八積駅周辺整備スケジュール

	平成３３年度【2021年度】	平成３４年度【2022年度】	平成３５年度【2023年度】	平成３６年度【2024年度】	平成３７年度【2025年度】
都市計画道路【八積駅北口線】	←	―	―	―	→
都市計画道路【駅前広場】	←	―	―	→	
自由通路及び駅舎橋上化	←	―	―	―	→
生活道路及び自転車歩行者道	←	―	―	→	
多目的広場及び中央公民館解体		←	―	―	→
公共下水道及び公衆トイレ整備	←	―	―	→	
誘導用点字ブロック及び案内誘導板			←	―	→
自転車駐輪場		←	―	―	→

認定こども園・給食センター事業手法の検討

	H29 (2017)	H30 (2018)	事業期間：５年
認定こども園	事業手法の検討		基本計画策定 調査・設計 工事期間（着手～完了）
給食センター			基本計画策定 調査・設計 工事期間（着手～完了）

全村民への説明会を求める

村の計画では 1 期事業（H30～32）で、①駅南口の改良（1000 ㎡）と②駅北口開発に絡んだ道路の拡幅整備などと、③公民館建替移転、が予定されており駅北口関連事業は第 2 期（H33～37）です。村長の公約である「認定こども園・給食センター」は H30 年度までに事業手法の検討→その後 5 年かけて工事完了、の計画であくまでも建設する姿勢です。これも駅北口開発に絡んでいますが 1 期・2 期事業には出ていません。事業は、村民に理解の得やすい駅南口の安全対策から始めて駅北口の大型事業へ進もうとしているように見えます。全体を見ると①と③は村民の要望もあり理解できます。が、全体では 43 億円の村にとっては巨額の大事業です。借金を村民に負わせる駅北口開発とこども園・給食センターは①③のように急ぐものではありません。私たちの調査では賛成は多くありません。事業の個々の予算も明らかにして、ここはじっくり広く村民の意見を聞き最終的には住民投票で決めるべきです。「住民説明会はした」で押し通すなら納税者の理解は得られません。議会に説明した中身を全村民にも説明することを要望します。

「駅周辺整備推進委員会」作る考えはない　小高村長

12 月 8 日（金）12 月議会一般質問。

関議員：八積駅周辺の整備案で「南口を改良する」ことは住民の要望であり評価できます。村の人口が減る中で北口を整備することについては反対の意見があります。したがって、駅南口の工事を終えてから検討し、判断すべきです。地権者、居住者、役場職員、住民代表で、「駅周辺整備推進委員会」を作ったらどうか、提案します。

小高村長：八積駅周辺の整備案については、先般 2 月の住民説明会で説明しました。「駅周辺整備推進委員会」の提案は、今のところ、設置は考えていません。

※関議員の「駅周辺整備推進委員会」を作る提案には賛成します。多額な費用がかかる計画は何回でも説明会を開き、村民の理解と納得が得られることが必要です。

村政アンケートより・村民の声①

石井としお後援会では皆さんに村政アンケートのご協力をお願いしました。とりまとめの途中で中間報告となりますが、寄せられた貴重な皆様の声を一部紹介します。

1 子育て支援について

「３つの保育園を廃止し認定こども園をつくる」は、多くの方が「反対」です。

◆通うのに遠くなる。保護者の負担となる。通園バスを作っても解決にならない。

◆子供は近くの所で友達を作り慣れて行くのが望ましい。そして八積、高根、一松小へ入り、中学で一緒になることが人間形成上良いと思います。

◆防災、災害の観点から３つの保育所が残ればそこで調理もできるので避難された方々のためにもなると思います。

◆保育所的に預ける方と幼稚園的に預けるのでは保護者も子供も条件が違うので良くないと思います。

◆村外の幼稚園に子供を行かせていましたが、茂原市のように補助を出してほしい。

◆地域密着型の３保育所を残してほしい。

◆３つの保育所がなくなると寂しい。でも中学校で一緒になるのに早く慣れるので、認定こども園をつくることに賛成です。

2 学校教育について

「自校方式の給食を廃止し、給食センターで作り搬送する」は、反対意見が圧倒的多数でした。

◆現在の自校で作る給食を絶対に守ってほしい。全国的にも食中毒が全校に広がり問題が発生しています。子供の命の問題です。

◆センター給食では冷めたものを食べることになります。温かい食事を子供達に食べさせたい。自分たちが体験したことです。

◆作っているおばさんと、食べる子供の顔が見えることがいいと思います。

◆先般、神奈川、大磯町の中学校で異物が見つかり、そして「まずい」として異常な食べ残しがありました。顔が見えて温かいものが食べられる自校方式がベターです。

◆災害があったときなどは学校の給食で避難者に作って食べさせることもできます。

※アンケートではありませんが、11 月に行われた中学生議会「明日の長生村を語る会」で、中学生から「学校給食は自校方式がよい。続けてほしい」との意見が出されています。

3 高齢者福祉について

交通手段のない高齢者からは、「外出支援サービスや福祉タクシー制度によって助かっている」との声がありました。他の自治体で実施している一回 300 円程度で利用できる乗合タクシーや人生のしめくくり、終活への支援にも要望がよせられました。

◆一回 300 円くらいで村内を回れる乗合タクシーがほしい。やっている町もあります。

◆現在、一人暮らしなので買い物やゴミ出しに困っています。困らないシステムを作ってほしい。

◆一人で人生の最後を迎えようとしている。葬式や財産の処分なども悩んでいます。役場で終活支援相談の場所を作ってほしい。

◆長生村に住み、一番の問題は交通の問題です。80 才を超え運転ができなくなったら通院、買い物が一番のネックです。

※次回の通信でも、引き続き村民の声②を紹介します。

市ヶ谷に新設の老人施設見学

特別養護老人施設「いこいの郷」（長生村本郷：電話44-6162）を見学しました。

◆「H29 年 10 月 1 日にオープンしました。地域密着型の介護老人施設ですので入所は村に住民票がある方だけです。29 床あり全て個室です。職員は 38 名。現在の入居者は 12 名です。ショートステイは８人利用。入所対象は介護度３以上ですが、独居生活や老人夫婦だけの生活など事情により介護度１でも入所できます。施設はバス停（市ヶ谷）が離れているので村外から訪問される方は少し不便かと思います。見学（随時ＯＫ）の方は多いです」とのお話でした（H29,11/8 訪問）。※（感想）きれいな施設で周囲の環境もよく、職員の方々がとても親切でした。美味しい食事が自慢とのことでしたので是非食べてみたかったです。高齢化の進む村にもっと増えて欲しい施設です

茂原イオン移動販売車見学
～買い物が便利に

茂原市のイオンが、遠くの店まで買い物に行けない「買い物弱者」のために移動販売車を始めたと聞いて担当の方に取材しました（H29,11,14）。◆「移動販売車には生鮮食品から弁当、加工食品まで約 300 品目を積んで、週４日ペースで駐車場や自治会館などを一日 6～10 ケ所巡回しています。H28 年の 11 月から幕張店で実験的に始め、今は茂原を含め車は計５台です。全国のスーパーや自治体でやっていますが黒字は３割程度。厳しいですが続けたい」とのことでした。

※（感想）高齢化が進み、村でも買い物弱者対策が欠かせません。村でも販売車が来れば助かる人が多くいます。イオンに要望するのも考えたいと思いました。

石井の村づくり活動目標

くらしやすい村をめざして５つの活動目標を決めました 。 （詳細は次号120号）

1. 子育て支援の充実
2. 学力を高め健康をまもる学校教育の推進
3. 健康長寿･福祉政策の充実
4. 農業、産業、観光の活性化と充実
5. 輝くながいき村に向けて
   (1)安心･安全の充実　(2)情報公開の推進
   (3)一人一貢献･協働の村づくり

編 集 後 記

◇４月から国民健康保険の運営主体が県に移り、年間保険料が変わります。村は５千～1 万円の範囲で値下げになります（H29, 12/1 県試算）。おおむね、高齢化率の高い自治体が値下がり、低い自治体が値上げになります。値下げは願うところですが値上げの自治体の方を思うと素直に喜べません。国の交付金を増やすべきです。

◇４月 22 日は村議会選挙です。日ごろの人間関係で判断される方が多いかと思いますが、向う４年間、村をどう作っていくのか、候補者の実績や政策で判断することが大事です。18 歳から投票できます。投票して村民のための議会を作りましょう。

◇この通信は年会費 1000 円と募金で発行しています。会員募集中です。